



2026年 5月19日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名 代表取締役 中村 友哉
(コード番号：402A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 折原 大吾
(TEL. 03-6262-6105)

次世代地球観測衛星「GRUS-3」を2026年7月以降に打上げ

当社は、連結子会社の株式会社アクセルスペースが、次世代地球観測衛星「GRUS-3（グルーススリー）」7機を2026年7月以降に打上げる予定であることをお知らせいたします。

当社が運用する地球観測衛星「GRUS（グルース）」は地球観測を目的にした質量100kg級の小型光学衛星であり、アクセルスペースの地球観測データ提供事業「AxelGlobe」のサービス提供のために開発されました。2018年12月に初号機、および2021年3月に打上げた追加4機をあわせ、現在は5機の「GRUS-1（グルースワン）」を衛星コンステレーション*として運用しています。

2026年7月以降に打上げ予定のGRUS-3には、日本を代表するカメラメーカーである株式会社ニコン（本社：東京都品川区、代表取締役 兼 社長執行役員 CEO：大村泰弘、以下「ニコン」）の望遠鏡を搭載しています。広範囲の観測を高頻度を実現することで、精密農業、森林監視、地図作成のほか、環境、金融、不動産など幅広い分野の需要に対応し、地球観測データ活用を促進していきます。

GRUS-3の衛星7機は、打ち上げミッション管理、衛星統合、展開サービスにおける世界的リーダーであるExolaunch社を通じて、相乗りミッションTransporter-17に搭載されて米国カリフォルニア州のヴァンデンバーグ宇宙軍基地から打ち上げられる予定です。GRUS-3の打上げによって株式会社アクセルスペースで運用する自社衛星コンステレーションを10機以上の体制に増強します。

詳細につきましては、以下のプレスリリース及びGRUS-3に対する取り組みをご説明しておりますnoteをご参照ください。

注記

* 地球の低軌道（高度約200～2,000キロメートル）に多数の小型衛星を配置し、連携して機能するシステム

記

1. 掲載先URL

アクセルスペース、次世代地球観測衛星「GRUS-3」を2026年7月以降打ち上げ～広範囲の観測を高頻度を実現し、高精細な観測体制を構築～
(2026年5月19日付公表)

https://www.axelspace.com/ja/news/grus-3_launch/

アクセルスペース、次世代地球観測衛星「GRUS-3」7機にニコンの望遠鏡を搭載～高い性能とコスト効率向上を両立、広範囲の観測を高頻度を実現～
(2026年5月19日付公表)

https://www.axelspace.com/ja/news/grus-3_nikon_telescopes/

2. その他

「GRUS-3」の打ち上げに向けて、製造・開発に関わる社員のインタビューを掲載しています。

アクセルスペース note 「日本から飛び立つ鶴の群れ | 次世代地球観測衛星GRUS-3とは」

<https://note.com/axelspace/n/n944c3bccb7a7>



以上